

平成28年度

医薬品包装セミナー

医薬品の信頼性保証と適正な表示・ 包装を目指して

日時

平成29年3月10日(金) 10:00~16:00

会場

(公社)日本薬学会 長井記念ホール

主催

公益社団法人日本包装技術協会

プログラム Program

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>◆『これからの信頼性保証と GDP (医薬品の物流に関する基準)』</p> <p>EUではGDPが法律化され、2015年からは原薬においてもGDPの対象となりました。日本は2014年7月にPIC/S(医薬品査察協定および医薬品査察協力機構)加盟国となりました。これはグローバルな時代を迎え、医薬品の製造や供給を1国で完結することは困難であり、海外との査察を含めたやりとりを柔軟にする上で重要な取り組みです。このようにGMPのグローバル化が進む中、GDPは一貫して製品が求める保存方法(貯法)で保管・輸送されることを保証する品質保証の一部である為、今後の医薬品業界において求められる必須プラクティスとなると考えます。最近では、医薬品の保管施設に対する温度マッピングも実施される会社様も増えて参りました。このような背景から日本におけるGDPについて、運送事業者へ輸送を外部委託する際における取り組むべき内容を原薬・医薬品輸送業者としての現場目線で事例を合わせてお話しいたします。</p>	<p>大開物流有限会社 代表取締役 山川 栄明 氏</p> <p>コーディネーター 藤森工業(株) ライフサイエンス事業本部 三重事業所長 兼 研究所 グループリーダー 鈴木 豊明 氏</p> <p>大日本印刷(株) 包装事業部 技術開発本部 製品開発部 第1課 エキスパート 中田 清 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>◆『医薬品の薬効を示すピクトグラムの作成とその必要性』</p> <p>ピクトグラムは誰にでも理解できる情報ツールとして様々な分野で使用されている絵文字である。医療現場では診療科やトイレなどの患者案内に利用されている。また患者のベッド角度等を表示するなど、看護分野にも応用されている。医薬品に関するピクトグラムには、一般社団法人「くすりの適正使用協会」が開発した、くすりの使い方、くすりを使う時間の目安、使用時の注意事項、相互作用等があるが、薬効を示したピクトグラムはない。医薬品の包装には品質保証、情報提供、そして患者の利便性が考慮されているが、更にアドヒアランスの向上に向けた取り組みがあっても良いのかと考える。そこで今回、薬効を示すピクトグラムを7種類作成し、薬効ピクトの必要性について検討したので紹介する。</p>	<p>京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 特命教授 高山 明 氏</p> <p>コーディネーター 全業工業(株) OTC開発部 開発3課 係長 溝呂木 太郎 氏</p> <p>岡田紙業(株) 本社営業部 営業第2課 課長 堤 正一 氏</p>
13:30 ▼ 14:40	<p>◆『メディカルデザイン思考によるパッケージ開発の可能性』</p> <p>医療過誤を未然に防止するために、パッケージの改善には様々な可能性があります。特にジェネリック80%時代をむかえる中でパッケージ改善は1つの有力な差別化戦略にもなります。プラグでは、観察・アイデア・試作のプロセスを重視した「デザイン思考型」のパッケージ開発に取り組んでいます。当日は、今話題のデザイン思考とは何かに触れ、病院観察からはじまる実際のパッケージデザインリニューアル事例や当社独自の病院観察、アンケート結果から見られたパッケージによる医療現場の危険性と、パッケージデザイン開発による解決アイデアをご紹介します。</p>	<p>株式会社プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏</p> <p>コーディネーター ゼリア新薬工業(株) 生産技術部 液剤・軟膏グループ 課長 小俣 康司 氏</p> <p>(株)カナエ 包装技術開発研究所 包装技術ニグループ マネージャー 中西 洋文 氏</p>
14:50 ▼ 16:00	<p>◆『医療現場の立場から包装に思うこと』</p> <p>現場での内服・外用の調剤する立場から、日ごろ目にする錠剤の包装(SP包装やPTP包装など)の工夫されてこれはすごい、と思っていること、おやっ、これは困る、というあれこれを述べていきます。またこれらの包装において、高齢者の誤飲は大きな問題であり、勝手な提案もしてみたい。</p> <p>片や注射調剤では、毎日出る箱の廃棄について、現場での状況を紹介し、各社の斬新な廃棄のためのデザインや廃棄しにくい箱について思うことをあれこれ述べたい。本講演ができるだけ現場の状況を考慮したグッドなデザインの一助になればよいと思う。講演の内容は、各社、考慮した結果のデザインであるので、決して否定するつもりは毛頭ないのでご容赦いただきたい。</p>	<p>秀和総合病院 薬剤部 部長 日比 徹 氏</p> <p>コーディネーター 第一三共プロファーマ(株) 第三製造部 部長 片山 通博 氏</p> <p>中外製薬(株) 生産工学研究所 製剤技術担当 包装グループ 中野 雄仁 氏</p>

講師のご紹介

山川 栄明(やまかわ はるあき)氏 大隅物流有限会社 代表取締役

【ご略歴】
2003年 4月～2006年9月 三菱伸銅株式会社
2007年12月～2012年4月 株式会社ミューチュアル
2012年 5月～大隅物流有限会社を設立、現在に至る
(2015年4月～一般社団法人日本PDA製薬学会 代議員)
著書:「山川栄明(2014) [第7章 今後のGDP体制の強化および運用について]」
「GDP徹底理解」情報機構、
日本PDA製薬学会 メディカルデバイス委員会
山川栄明(2015)
「医療製品の2℃～8℃(冷凍結)管理における航空輸送の実態とGDPへの取り組みについて」
「PHARM TECH JAPAN 臨時増刊号」3(17)」
じほう

高山 明(たかやま あきら)氏 京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター 特命教授

【ご略歴】
1978年 京都薬科大学大学院修士課程修了
1978年 京都大学医学部附属病院薬剤部文部技官
1985年 京都大学医学部附属病院薬剤部係長
2006年 京都薬科大学臨床薬学教育研究センター
教授
2007年 臨床薬学教育研究センター長
2016年 臨床薬学教育研究センター 特命教授
著書:「シナリオ症例解析 ー 医療現場で今 ー (京都廣川書店)

小川 亮(おがわ まこと)氏 株式会社ブラグ 代表取締役社長

【ご略歴】
慶應義塾大学環境情報学部卒業後、キッコーマン株式会社にて、宣伝部、市場調査部、販促企画部で、商品開発、消費者調査、マーケティング戦略立案などに従事。
1999年慶應ビジネススクールにてMBAを取得した後、㈱アイコーボレーションにてデザインビジネスを展開。2014年に調査会社CPPと合併し、㈱ブラグへ、パッケージデザイン・消費者調査・商品開発の3分野を手掛ける。(公社)日本パッケージデザイン協会 理事
著書:「図解でわかるパッケージデザインマーケティング」(日本能率協会マネジメントセンター)

日比 徹(ひび とおる)氏 秀和総合病院 薬剤部 部長

【ご略歴】
平成 3年 3月 日本大学理工学部薬学科卒業
平成 3年 4月 慶応義塾大学病院薬剤部研修生
平成 3年 8月 浦和(現、さいたま)市立病院薬剤科
入職
平成20年10月 国際医療福祉大学三田病院薬剤部薬
劑室 室長として入職
平成22年 6月 秀和総合病院薬剤部長(埼玉県春日部
市)として入職
有資格:薬剤師、日本糖尿病療養指導士

開催要領

日 時:平成29年3月10日(金)10:00～16:00
会 場:(公社)日本薬学会 長井記念ホール
東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会長井記念館B2F
参加費:会員18,360円(消費税、テキスト代含む)
*同時に3名以上でお申込みの場合には割引価格として1名15,120円
一般27,000円(消費税、テキスト代含む)
定 員:100名

お申し込み方法

- 本誌申込書に必要な項目を全て記入の上、FAXにてお申込み下さい。
協会HPからのお申込みも出来ます。
協会HP:<http://www.jpi.or.jp>
- 申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします。
- 開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。
申し込まれた方が都合が悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(当日、名刺をご提出いただきます。)

お問い合わせ並びにお申し込み先

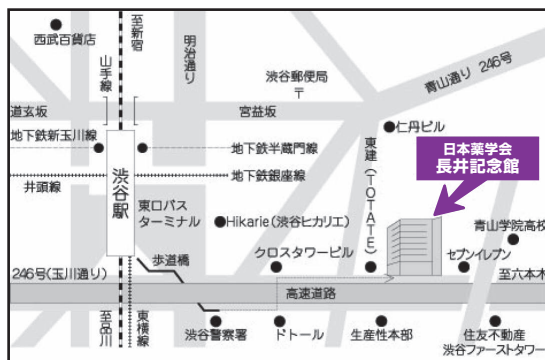
公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係
担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL. 03(3543)1189 FAX. 03(3543)8970
e-mail: takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成28年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

- 会 場:長井記念ホール
東京都渋谷区渋谷2-12-15
日本薬学会長井記念館B2F
TEL.03-3406-3326
- 交通手段
JR渋谷駅(東口)より高樹町方面へ高速道路3号線沿い徒歩10分
東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線の渋谷駅より徒歩10分



平成28年度医薬品包装セミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名						
所在地	(〒)					
電 話				FAX		
参加者名	氏名	所属役職		e-mail		
	氏名	所属役職		e-mail		
	氏名	所属役職		e-mail		